

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う 緊急地震速報への影響について

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴い、当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より遅くなる可能性があります。

8月15日02時40分頃から、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムにおいて障害が発生しています。

このため、当該観測点の観測データを緊急地震速報の発表に活用できない状態となっています。当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報の発表が平常時より最大で13秒程度遅くなる可能性があります。

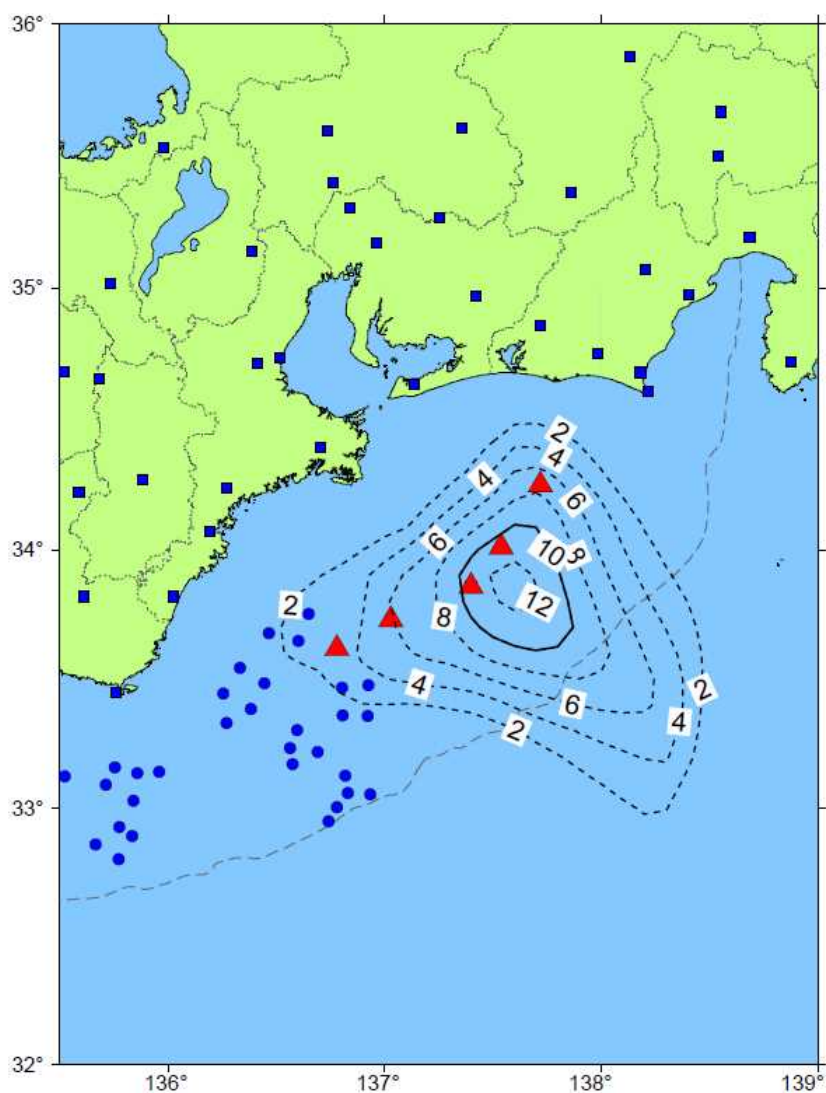
なお、津波警報や地震情報の発表が遅れることはなく、津波警報の切替え、津波観測情報の発表の影響はありません。

障害の原因については調査中ですが、復旧後あらためてお知らせします。

問合せ先：（東南海ケーブル式常時海底地震観測システムについて）
地震火山部地震火山技術・調査課 担当 晴山
電話 03-6758-3900（内線 5246）
（緊急地震速報について）
地震火山部地震火山技術・調査課 担当 桑山
電話 03-6758-3900（内線 5242）

東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害に伴う
緊急地震速報への影響について

当該海域には、東南海ケーブル式常時海底地震観測システム（下図：赤▲）、国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している地震・津波観測監視システム (DONET)（下図：青●）が設置されており、これらの観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。



図中の等値線は、東南海ケーブル式常時海底地震観測システムの障害による緊急地震速報への活用を停止した場合、障害発生前の通常より発表がどの程度遅れるかを秒数で表したものの。